

作成日 2000年12月01日
改定日(R-17) 2024年10月22日

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品情報

製品名 イールド
整理番号 11026065
推奨用途及び使用上の制限 溶剤希釈型潤滑剤 (エアゾール缶)

会社情報

会社名 日本エヌ・シー・エイ株式会社
住 所 東京都町田市南成瀬1-2-2 5F
担当部署 管理・技術センター技術・品証課
電話番号 0120-571511

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

エアゾール : 区分1
皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2
感作性-皮膚 : 区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分1 (循環器系)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3 (麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1 (中枢神経系)

GHS ラベル要素



危険

危険有害性情報

- H222: 極めて可燃性の高いエアゾール
- H229: 高压容器: 熱すると破裂のおそれ
- H315: 皮膚刺激
- H319: 強い眼刺激
- H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H370: 臓器(循環器系)の障害
- H335: 呼吸器への刺激のおそれ
- H336: 眠気およびめまいのおそれ
- H372: 長期にわたる、または反復ばく露による臓器(中枢神経系)の障害

注意書き

【安全対策】

- P210: 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。-禁煙。
- P211: 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。
- P251: 使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。
- P260: スプレーを吸入しないこと。
- P264: 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- P270: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- P271: 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P280: 保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- P302+P352: 皮膚についた場合: 多量の水で洗うこと。
- P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用してい

- て容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・P337+P313：目の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
- ・P333+P313：皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
- ・P308+P311：ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・P304+P340：吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・P312：気分が悪い時は医師に連絡すること。
- ・P314：気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- ・P101：医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

【保管】

- ・P410+P412：日光から遮断し、40℃以上の温度に暴露しないこと。
- ・P405：施錠して保管すること。
- ・P102：子供の手の届かないように保管すること。

【廃棄・その他】

- ・P501：内容物/容器を定めるところに従って廃棄すること。
- ・使用後は、火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押してガスを抜いてから廃棄すること。
- ・キャップだけ持つと本体が落下するおそれがあるので注意すること。
- ・錆の発生しやすい水、湿気の多い所では破裂の原因となるので保管しないこと。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 化学名または一般名 : 溶剤希釈型潤滑剤 (エアゾール缶)

成分名	質量%	官報整理番号	CAS No.	備考
オクタン	2.13	2-8	111-65-9	既存化学物質または名称公示済みである
ノナン	23.38	2-9	111-84-2	既存化学物質または名称公示済みである
酢酸エチル	13	2-726	141-78-6	既存化学物質または名称公示済みである
ビス(ジチオン酸=0,0-ジ(2-エチルヘキシル)ジチオジチキソニエチル)エチン (エチンとして)	0.01~<0.1 (0.009)	2-2949	72030-25-2	既存化学物質または名称公示済みである
・プロパン	5~10	2-3	74-98-6	既存化学物質または名称公示済みである
・n-ブタン	1~5	2-4	106-97-8	
その他	残分	企業秘密	企業秘密	構成成分はすべて既存化学物質または名称公示済みである

※製品を構成する全成分及び含有量は、企業秘密のため記載できない。
 記載のない成分は、危険有害性区分に寄与せず、国内法令によって情報伝達が求められる物質ではない。
 SDS 交付義務対象物質である成分について、より詳細な組成情報が必要な場合、秘密保持契約締結の上、詳細な組成、成分情報開示書類を別途提出とする。

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・呼吸の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：

- ・直ちに水で洗い流し、石鹸で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに汚染された衣類を取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

眼に入った場合：

- ・清浄な水で最低 15 分間洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・洗浄後、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合:

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状:

- ・眼: 刺激。皮膚: 刺激。吸入: 呼吸器を刺激。誤飲: 大量に飲み込むと吐き気を起こすおそれがある。

最も重要な兆候及び症状:

- ・データなし。

医師に対する特別注意事項:

- ・症状は遅れて発現することがあり、過剰に暴露した場合は、医学的な経過観察が必要である。

5. 火災時の措置

- ・消火剤 : アルコホーム、炭酸ガス、乾燥化学粉末、化学泡、水散布
- ・使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- ・特定の消火方法 : エアゾール噴射ガスに LPG を使用している。消火活動を行っているものに、火災の場所と有害性を伝える。エアゾール缶のバーストを避けるため、火災に暴露されている容器を散布水で冷却する。蒸気は空気よりも重く床を這い、使用場所と違う場所で引火することがある。
- ・消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を含む適切な保護具を使用する。風上で作業する。

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項
保護具及び緊急措置 : 「8. 暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。密閉された場所では換気又は送気マスクを使用する。作業時には適切な保護具を使用する。漏出物は滑りやすいので気をつける。
- ・環境に対する注意事項 : 漏出物は排水や水源に混入させない。
- ・回収、中和、封じ込め及び浄化方法と機材 : 砂・土など適切な吸収剤を使用して回収し廃棄する。残分はウエス等で拭き取り、廃棄する。
- ・二次災害の防止策 : 火気、電源等の引火源を止めるとともに消火剤を準備する。換気を行う。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- : 火気厳禁。消防法危険物第四類第一石油類（非水溶性）。炎、火花もしくは高温体との接近又は過熱を避けるとともにみだりに蒸気を発生させない。

局所排気装置・全体換気

- : 取扱う場合は局所排気内、又は全体換気のある場所で取扱う。

安全取扱い注意事項

- : 暴露防止のため、「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。製品ラベルの注意事項を守って取り扱う。

管理濃度、濃度基準値等

- : 「8. 暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。

接触回避

- : 「10. 安定性及び反応性」参照。

保管

技術的対策

- : 火気厳禁。消防法危険物第四類第一石油類（非水溶性）。

混触禁止物質

- : 「10. 安定性及び反応性」参照。

適切な保管条件

- : 火気厳禁。消防法危険物第四類第一石油類（非水溶性）。指定数量 200 リットル。消防法の定めにより指定数量を超えて保管する場合には、自治体条例の定める基準に従い保管すること。火気、熱源より遠ざける。40℃以上の高温を避け、常温屋内で保管する。使用時以外は密栓をして子供の手の届かない所に保管する。その他法令の定める所に従う。

廃棄上の注意及び輸送上の注意: 「13. 廃棄上の注意」、「14. 輸送上の注意」の記載事項を参照。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度、管理濃度(職業的暴露限界値、生物学的限界値)

成分名	含有量	管理濃度	許容濃度	濃度基準値	ACGIH-TLV
-----	-----	------	------	-------	-----------

	(質量%)	(安衛法)	(日本産業衛生学会)	(第577条の2第2項)	
オクタン	2.13	未設定	300ppm 1400mg/m ³	未設定	TWA 300ppm
ノナン	23.38	未設定	200ppm 1050mg/m ³	※2025/10/1より適用 200ppm(8時間)	TWA 200ppm
酢酸エチル	13	200ppm	200ppm 720mg/m ³	未設定	TWA 400ppm
ビス(2-エチルヒソジン)リン酸=0,0-ジ (2-エチルヒソジン)リン酸 キノリン (キノリンとして)	0.01~<0.1 (0.009)	未設定	未設定	未設定	TWA 10mg/m ³ (I) 3g/m ³ (R)
・プロパン	5~10	未設定	未設定	未設定	未設定
・n-ブタン	1~5	未設定	500ppm 1200mg/m ³	未設定	STEL 1000ppm
その他	残分	未設定	未設定	未設定	未設定

設備対策 : 屋内作業場で定常使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置。

保護具
 呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク
 手の保護具 : 耐溶剤性ゴム手袋
 目の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : エプロン、長袖
 その他法令の定める所に従う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
 色 : 淡褐色透明
 臭い : 溶剤臭
 融点/凝固点(°C) : データなし
 沸点又は初留点及び沸点範囲(°C) : 71
 可燃性 : データなし
 爆発限界及び爆発上限界/可燃限界(%) : 下限: 2.2 (酢酸エチル) 上限: 11.0 (酢酸エチル)
 引火点(°C) : 8.5 (タグ密閉式)
 自然発火点 : データなし
 分解温度(°C) : データなし
 pH(100%) : データなし
 動粘性率 : 非粘性
 n-オクタノール/水分分配係数 : データなし
 蒸気圧(20°C-kPa) : 1.8 (13.6mmHg)
 蒸気速度(AIR=1) : 1.8
 密度及び/又は相対密度 : 0.819
 揮発分(重量%) : 79
 臭いの閾値 : データなし
 蒸発速度(酢酸ブチル=1) : 0.6
 相対ガス密度 : データなし
 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 安定
 危険有害反応性の可能性 : 特になし
 避けるべき条件 : 裸火、熱、スパーク、高温体、火炎
 混触危険物質 : 強酸化性物質、強酸、強塩基、硝酸化合物
 危険有害な分解生成物 : 燃焼により窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性
 経口 : 各成分のLD50から、ATEmixを算出した(GHS判定基準による)。これにより混合物として情報がなく分類できない。
 経皮 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 吸入(ガス) : 各成分の分類結果から混合物として分類対象外。
 吸入(蒸気) : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 吸入(ミスト) : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
 皮膚腐食性/刺激性 : 各成分の分類結果から混合物として区分2とした。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

- : 各成分の分類結果から混合物として区分2とした。
- 感作性-呼吸器 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
- 感作性-皮膚 : 各成分の分類結果から混合物として区分1とした。
- 生殖細胞変異原性 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
- 発がん性 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
- 生殖毒性 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
- 生殖毒性 (授乳に対するまたは授乳を介した影響) : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。
- 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 各成分の分類結果から混合物として区分1 (循環器系)、区分3 (気道刺激性、麻酔作用) とした。
- 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 各成分の分類結果から混合物として区分1 (中枢神経系) とした。
- 誤えん有害性 : 各成分の分類結果から混合物として情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

- 生体毒性 : データなし
- 残留性/分解性 : データなし
- 生物蓄積性 : データなし
- 土壤中の移動度 : データなし
- オゾン層への有害性 : 分類できない
- その他の影響 : エアゾール: 区分1

13. 廃棄上の注意

- ・ 残余物の廃棄の際は下水、環境中にそのまま放出しない。
- ・ 使い切ってから廃棄するか、産業廃棄物処理業者に委託する。
- ・ その他環境、廃棄物関連法規に準じて廃棄する。

14. 輸送上の注意

- 国連番号、国連分類 : UN1950, クラス 2.1, 引火性エアゾール
- 国内規制 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
- 特別の安全対策
 - ・ 7項、15項の記載事項を参照のこと。
 - ・ 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 - ・ 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
 - ・ その他法令の定める所に従う。

15. 代表適用法令

- 化審法 : 特定化学物質 : 該当せず
- 毒物劇物取締法 : 毒物、劇物 : 該当せず
- 消防法 : 危険物 : 第四類第一石油類 (非水溶性) 危険等級II
- 労働安全衛生法 : 有機溶剤中毒予防規則 : 第二種有機溶剤 酢酸エチル
- : 特定化学物質障害予防規則 : 該当せず
- : 変異原性が認められた既存化学物質 : 該当せず
- : がん原性物質 : 該当せず
- : 皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質 : 該当せず
- : 通知対象物質 : 政令番号第177号 酢酸エチル (令和7年度以降、政令番号第595号 酢酸エチル)
- : 政令番号第115号 オクタン (令和7年度以降、政令番号第361号 オクタン (アルキル基の異性体を含む。))
- : 政令番号第432号 ノナン (令和7年度以降、政令番号第1515号 ノナン (アルキル基の異性体を含む。))
- : 政令番号第482号 ブタン (令和7年度以降、政令番号第1720号 ブタン)

- (アルキル基の異性体を含む。))
- : リスクアセスメント物質 : 政令番号第177号 酢酸エチル
(令和7年度以降、政令番号第595号 酢酸エチル)
- : 政令番号第115号 オクタン
(令和7年度以降、政令番号第361号 オクタン
(アルキル基の異性体を含む。))
- : 政令番号第432号 ノナン
(令和7年度以降、政令番号第1515号 ノナン
(アルキル基の異性体を含む。))
- : 政令番号第482号 ブタン
(令和7年度以降、政令番号第1720号 ブタン
(アルキル基の異性体を含む。))

なお、本書作成時の調査より、令和7年度、令和8年度以降追加となる安衛法ラベル表示・SDS交付の義務化対象物質の含有は、以下記載の通りである。

- : 通知対象物質(令和7年度追加)
: 該当せず
- : リスクアセスメント物質(令和7年度追加)
: 該当せず
- : 通知対象物質(令和8年度追加)
: 政令番号第1768号プロパン
- : リスクアセスメント物質(令和8年度追加)
: 政令番号第1768号プロパン

化学物質管理促進法(PRTR法)

- : 第二種指定化学物質 : 管理番号第761号 オクタン
: 管理番号第791号 ノナン

また、PRTR法規制値未満だが、成分中に以下のPRTR法規制物質を含む。

- : 第一種指定化学物質 : 管理番号第453号 𑀓ブテン及びその化合物
𑀓ブテンとして 0.009%

16. その他の情報

本データシートに記載されている情報は弊社の知り得る限りにおいて正確ですが、保証するものではありません。弊社は製品ラベル記載事項を守らない使用方法などによって受けた人的、物的損害に対して賠償責任を負いかねます。

参考文献:

1. 「製品安全データシートの作成指針」(社)日本化学工業協会, 2001
2. 「GHS対応による混合物(化学物質)のMSDS作成手法の研修テキスト」中央労働災害防止協会, 2006
3. 「GHSモデルMSDS情報」中央労働災害防止協会, 2024
4. 「JIS Z7253:2019, GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」日本工業標準調査会, 2024
5. 「GHS分類結果データベース」(独)製品評価技術基盤機構, 2024
6. 「ezCRIC+」日本ケミカルデータベース(株), 2024